

# 思考と試行は新しい局面へ。



## ▼7月7日(水) 5・6校時

### 2年次一般コース「課題研究」：一次検証まとめ・グループ作り／二次検証方法立案

▽先週の2年次探究コースに続いて、今週は一般コースでもグループ作りを行いました。

▽個人研究テーマを大まかに分類したのが右の表です。4クラス160名弱を、6教室に約25名ずつ振り分けて実施しました。

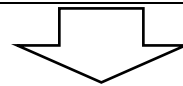
▽一次検証まとめとグループ作りについては探究コースの際とほぼ同じように進めました。詳しくはVol.07をご覧ください。

▽探究コースと異なるのは、分野やテーマの幅が広いことです<sup>[注1]</sup>。一次検証リストを見て自分の研究に関連ある研究を探し、場合によっては他の教室にいる人ともグループを組みます。なお、ソロ研究(個人研究)も認めています。

▽グループテーマと仮説、そして二次検証方法立案にも進みました。今回、先生方からの質問や助言は定義に関するものを中心にしました。「○○とは何?」「満足とはどういう状態?」「どういう状況を影響がある、とするの? それは測定できる?」のように問いかけられることで、漠然としていたテーマや仮説がしだいに絞り込まれていきます。

[注1]2年次探究コースは地域がテーマです。ただし、一般コースと同様の「課題研究」も2年次1月~3年次7月にかけて行います。

分野(一次検証段階)	人数	場所
A 人文	56	第2学習室 2年1組教室
B 経済	12	2年4組教室
C 教育・スポーツ	48	2年2組教室 2年3組教室
D 理・工	14	2年4組教室
E 医療・農・栄養・福祉	27	2年5組教室



二次検証から、グループ研究・ソロ研究へ

## ▼7月7日(火) 5・6校時&7月8日(水) 6校時

### 2年次探究コース「地域理解発展研究」：一次検証まとめ・グループ作り②／二次検証方法立案

▽まず前回個人で行った一次検証まとめを、改めてグループで行いました。ソロ研究の生徒も互いに集まって同じように取り組みました。ソロ研究は、グループに比べて《ほかの人の目》<sup>[注2]</sup>が少なくなりますので、自分の考えを振り返る機会を意識的に設けています。

▽また、二次検証方法立案に向けて、データの扱いについても学びました。統計学のテキストの「問題の明確化」の文章を読み、右枠のような演習問題にも取り組みました。

ある市で、近くに行われる市長選挙についての調査を、金曜日の夕方6時から8時に中心市街地を通りかかった20歳以上の男女を対象に行った。この市の有権者を母集団と考えるとき、どのような偏りがあるだろうか。

『改訂版 日本統計学会公式認定  
統計検定3級対応 データの分析』より引用

[注2]株式会社クリエイティブシフト「探究パターン・カード」より。

